

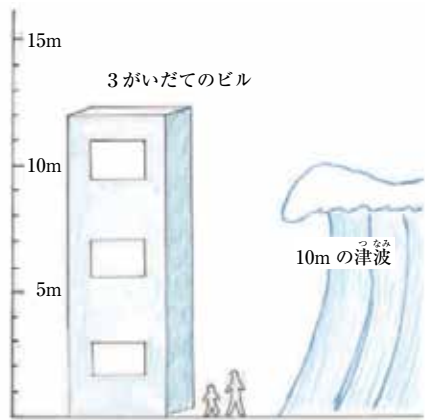
つなみについて知ろう

海^{かい}でい^{うみ}（海^{うみ}のそこ^じ）で地^ちしんがおきると、大^{おお}きななみ^{なみ}が、もうス^すピード^{ピー}でり^ちく地^ちをおそいます。すると「つなみ」がおこることがあります。「つなみ」について学^{がく}習^{しゅう}しましょう。



東北地方太平洋沖地震で起きたつなみ
(宮古市役所ていきょう)

1 おそろしいつなみ



つなみの大きさ
神戸市教育委員会「しあわせはこぼう」より

つなみは、とても早く、大人^{おとな}が走^{はし}ってにげても、おいつかれてしまうほどです。また、つなみはとても強い力^{ちから}をもっていて、大人^{おとな}でも高さ^{たか}10cm^{センチメートル}のつなみで足^{あし}をとられてしまうと言^いわれています。東北地方太平洋沖地震^{とうほくちほうたいへいようおきじしん}で発生^{はっせい}したつなみは、家^{いえ}をおし

ながしたり、ビルをたおしたりするほどでした。そして、多く^{おほく}の人のいのちがうばわれました。

東北地方太平洋沖地震^{とうほくちほうたいへいようおきじしん}では、人^{ひと}びとが考^{かんが}えていたよりもはるかに高^{たか}いつなみ^{なみ}が仙^{せん}台^{だい}市^しをおそいました。仙^{せん}台^{だい}市^し若^{わか}林^{りん}区^くの荒^あ浜^{はま}では、高^{たか}さ10m^{メートル}ものつなみがおそってきま

2 つなみからにげる～早く、高いところへ～

つなみは、早^{はや}いところでは地^ちしんがおきてから数^{すう}分^{ぶん}でやってきます。海^{うみ}の近^{ちか}くで地^ちしんにあつたら、かならず、つぎのことをまもりましょう。

- ① 少^{すこ}しでも早^{はや}く海^{うみ}から遠^{とお}いところへにげる。一^{ひとり}人^{ひと}でもにげる。
- ② より高^{たか}いところへひなんする。
- ③ つなみは何^{なん}度もやってくるので、その後^ごもぜったい海^{うみ}に近^{ちか}づかない。
- ④ 川^{かわ}のそばにいるときは、川^{かわ}からはなれる方向^{ほうこう}にすばやくにげる。



つなみからにげるために、屋^{おく}上^{じょう}にひなんする人^{ひと}びと



川^{かわ}のそばにいるときのにげ方^{かた}

つなみのきけんやひなん場所をしめすひょうしき



つなみちゅうい



つなみひなん場所^{ばしょ}



つなみひなんビル

海^{うみ}の近^{ちか}くに行^いったときは、このよう^{よう}なひょうしきがないか、たしかめておきましょう。正^{ただ}しいひなんの仕^{しかた}方^{ほう}で自^じ分^{ぶん}のいのちをまもりましょう。

世界津波の日^{せかいつなみひ}（11月5日）：日本^{にほん}がていあんし、国^{こく}れんでせい定^{てい}されました。